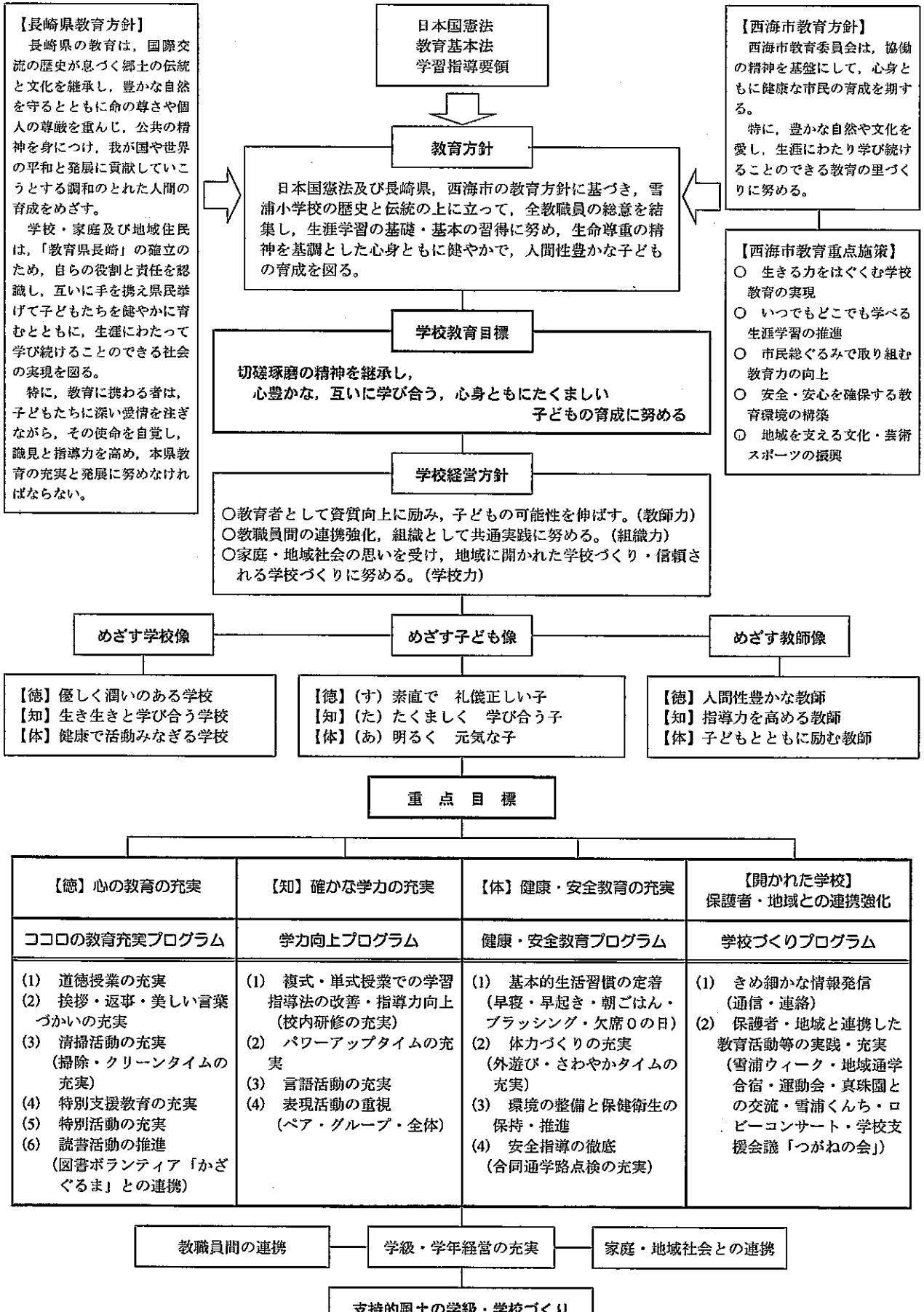


学校経営全体計画



学校教育目標具現化に向けた取組
(具体目標と努力事項)

【徳】心の教育の充実『ココロの教育充実プログラム』

- (1) 道徳授業の充実・・・道徳的規範意識を育てる。
 - ・ 学校の教育活動全体を通して道徳教育を行い、道徳性を培う。
 - ・ 道徳教育全体計画、年間指導計画、重点価値目標を意識して授業を行う。
 - ・ 他の領域、体験活動等と結びつけながら、補充・深化・統合を図る。
 - ・ 「わたしたちの道徳」の活用を図る。
 - ・ ボランティア活動の日常化を図り、道徳的実践力を育てる。
- (2) あいさつ・返事・美しい言葉づかいの充実・・・道徳的実践力を育てる。
 - ・ まずは教師自ら、校外外でのあいさつ運動を展開する。
 - ・ 「返事」という意思表示の実践を強化する。
 - ・ 相手意識をもった美しい言葉づかいを意識させる。
- (3) 清掃活動の充実（掃除・クリーンタイムの充実）・・・美化意識や協力・感謝の気持ちを育てる。
 - ・ 共に汗して働く清掃活動をめざして指導する。 ※『床を磨けば心が光る』
 - ・ 美しい学校環境に喜びをもたせる場を仕組む。
- (4) 特別支援教育の充実・・・個の違いを認め合う心を育てる。
 - ・ 一人一人の特性に応じた特別支援教育を推進する。(個別の支援計画作成)
 - ・ 関係機関との連携を通して、指導の充実を図る。
- (5) 特別活動の充実・・・集団活動を通して、より良い人間関係・より良い生活を築こうとする態度を育てる。
 - ・ 「自律」を意識した学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事を計画的に仕組んで実践する。
- (6) 読書活動の推進・・・読書の楽しさを体得させることで、生涯学習の一助となるようにする。
 - ・ 学校内外での読書活動習慣の定着を図る。
 - ・ 学校図書館運営補助員や図書ボランティアの協力を得ながら、学校図書の充実や習慣形成に努める。

【知】確かな学力の充実『学力向上プログラム』

- (1) 複式・単式授業での学習指導法の改善、指導力向上
・・・課題解決の過程を大切に、教師のより良い指導によって子ども自らの学ぶ力を育てる。
 - ・ 研究を通して個を大切にした指導法の充実を図り、基礎・基本の習得を支援する。
 - ・ 体験活動の有効性を理解し、意識的に学習活動に組み入れる。
- (2) パワーアップタイムの充実・・・個の困り感に対応し、学びに喜びを感じさせる。
 - ・ 計画的に運用し、学力の向上・外国語活動の充実を図る。
 - ・ 個々の特徴を的確に掴み、指導教材を工夫して指導に活かす。
- (3) 言語活動の充実・・・確かな学力につなげる。
 - ・ 各教科等における言語活動を充実させ、習得・活用・探求の連動を図る。
- (4) 表現活動の重視（ペア・グループ・全体）・・・発表の能力や表現力を育てる。
 - ・ 子ども同士の学び合い（相互交流活動）を計画的に仕組み、学習内容の定着につなげる。
 - ・ 学級・学年の枠を超えた表現の場を意識的に取り入れる。

【体】健康・安全教育の充実『健康・安全教育プログラム』

- (1) 基本的な生活習慣の定着・・・より良い生活を送るための生活力を育てる。
 - ・ 早寝・早起き・朝ごはんの取組に加え、ブラッシング（歯磨き）や欠席0の日の取組を推進する。
 - ・ 家庭への啓発活動を行う。（学校・学年・保健だより等）
- (2) 体力づくりの充実（外遊び・さわやかタイムの充実）
 - ・・・健康の保持・増進に努めるために、知識と丈夫な体を育てる。
 - ・ 体育科における運動量の確保や外遊びの奨励、さわやかタイムの実施等を通して、年間を通じた体力づくりに励む。
 - ・ 運動会・小体会等に向けての練習を通して、体力づくりに励む。
 - ・ 昼休みに学級まとまっての外遊びを企画・実施することで、体力づくりと共に学級づくりの基盤とする。
- (3) 環境の整備と保健衛生の保持・推進
 - ・・・充実した学校環境を整備したり、保健衛生の取組を強化したりすることで、健やかな心と体を育てる。
 - ・ 校内掲示板の計画的運用を図る。
 - ・ 学校園・学級園の計画的運用を図る。
 - ・ 安全点検の充実を図り、施設設備の改善に努める。
 - ・ 学校保健委員会、環境安全衛生委員会の取組の充実を図る。
 - ・ 定期的な保健だよりの発行で、情報の発信及び啓発を図る。
- (4) 安全指導の徹底・・・「自分の命は自分で守る」という意識と態度を育てる。
 - ・ 学級活動における命の大切さの指導の充実を図る。
 - ・ 安全な登下校の在り方や不審者対策等、指導の充実を努める。

【開かれた学校】保護者・地域との連携強化『学校づくりプログラム』

- (1) きめ細かな情報発信（通信・連絡）・・・情報発信を学校の信頼獲得に結びつける。
 - ・ 通信、連絡帳、電話、家庭訪問等を通して、保護者との意思疎通を図る。
 - ・ 教育のプロとして、公用表記に心がけ、情報発信に臨む。
 - ・ H Pの活用を図る。
- (2) 保護者・地域と連携した教育活動等の実践・充実
 - ・・・保護者・地域との交流活動を通して、学校の信頼獲得に結びつける。
 - ・ 魅力あるPTA活動を創意工夫する。
 - ・ PTA行事、地域行事へ積極的に参加する。
 - ・ 教育活動において、積極的に保護者や地域の人材、団体等を活用する。（地域学習）

その他

- (1) 学級経営の充実・・・経営の充実を図ることで、一人一人の個性伸長につなげる。
 - ・ 学級を一人一人の存在感のある自己実現の場とするために、支持的風土の学級をめざす。
 - ・ 学級経営案、目標管理シートの活用を通して、RVPDCAサイクルを確立させ、自らマネジメント能力を高める。
- (2) 積極的な生徒指導の展開・・・児童理解に努め、教師と児童、児童相互の好ましい人間関係を育む。
 - ・ 一人一人の児童との会話を毎日成立させる。
 - ・ 生活指導研修会を開催し、情報の共有化を図り、全職員で指導にあたる。
- (3) 人権教育の充実・・・全教育課程の中で、人権尊重の精神を育てる。
 - ・ 人権集会や平和集会の開催し、人権や平和に対する意識を育てる。
- (4) 積極的な学校経営参画・・・組織の一員としての自覚をもち、積極的に参画する。
 - ・ 問題は一人で抱え込まず、情報を共有し、全職員で解決にあたる。
 - ・ 新しい豊かな発想を大切に、思い切って実践化に結びつける。